

令和4年度 地方創生推進交付金事業結果

交付対象事業名		交付対象事業の総合戦略での位置付け			交付対象事業の概要			
地域資源を活用したシティプロモーション推進事業		旭市総合戦略において重点戦略の一つとして位置づけられた「故郷創出プロジェクト」の方向性であるシティセールスの推進を図るもので、本市の最大の課題である人口減少に対して必要となるものである。			官民連携によるロケ誘致・撮影支援を行い旭市の魅力を市内外に効果的に発信することで、市民の郷土愛の創出とまちづくりへの積極的な参加を促すとともに、農水産業や商工業などの幅広い産業の関わりにより、撮影支援の過程で発生する様々な経済効果や地元農水産物を利用した特産品等の開発と活用などの産業振興を図る。さらにロケ地を訪れた人々が特産品等の食文化に触れ旭市にさらなる魅力を感じ、ファン度が高まることで関係人口の増加と地域の活力が向上する好循環を生み出すために、地域一体となって取り組んでいく。			
事業期間		交付金対象事業費		うち交付金充当額	支出内容			
R4.4～R5.3		12,347,500円		6,173,750円 (交付決定額6,174,000円)	旭市シティプロモーション事業支援業務委託			
重要業績指標(KPI)の名称		事業開始前	令和4年度の増減		達成状況	達成状況について	令和5年度増加分の目標値	令和6年度増加分の目標値
			目標値	実績値				
①	新たな協議会によるロケ誘致件数(件)	-	+5 (0)	22 (22)	達成	官民連携による撮影支援体制を整え、新たなロケ地の発掘や制作者への情報発信により、達成できた。	+15	+20
②	特産品等の開発件数(件)	-	-	-	-	R4年度は、目標設定なし	+1	+3
③	観光入込客数(千人)	2,156	+5 (2,161)	▲271 (1,885)	未達成	コロナによる行動制限が緩和され、やや持ち直しの動きはあるものの、コロナ以前の水準に回復しなかった。	+10	+20
④	移住相談件数(件)	114	+20 (134)	46 (160)	達成	移住に関する他施策との連携により、達成することができた。	+20	+50
重要業績指標(KPI)についての自己評価						令和5年度の事業内容		
「①新たな協議会によるロケ誘致件数」 ・ロケツーリズム推進のため官民一体の組織「あさひロケーションサービス協議会」を設立し、ロケの受け入れ体制を整備したことにより、99 件のロケ問い合わせがあり、うち22 件のロケを誘致できたことから、達成した。 「③観光入込客数」 ・コロナによる行動制限が緩和され、やや持ち直しの動きはあるものの、コロナ以前の水準に回復せず、未達成となったが、市内ロケ地の紹介のほか、旭市の特産品や飲食店を掲載したロケ地マップを作成した。市内観光施設等に設置することで、本市PRにつながる情報発信を行った。						・ロケツーリズムによるシティプロモーションの推進 引き続きロケ誘致・撮影支援を継続して実施していくとともに、新たに誘致に成功したロケ実績を活用し、市民に対してもロケ誘致・支援を行ったことによる効果が分かるよう情報発信を行う。本年度では、前年度に整理した実績を地域内外へ周知させるために、実績を盛り込んだ観光周遊マップなどを作成し、観光誘客とシティプロモーションの推進を行う。 ・特産品等の開発にかかるワークショップの開催と映像業界向け情報発信 撮影支援とともに食でおもてなしをするための、地域の素材を活用した特産品等の開発やブラッシュアップを行い、メディア等への情報発信を行う。		